

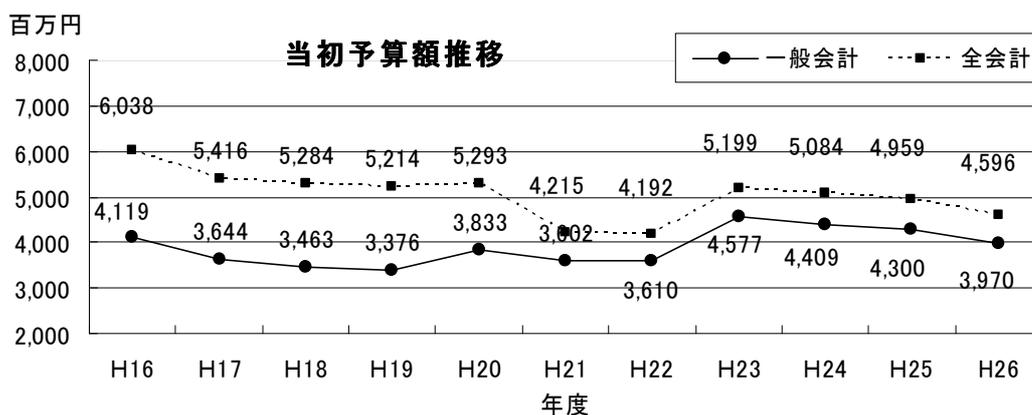
平成26年度ニセコ町予算案の概要

平成26年2月
総務課財政係
(数値は一部概算値を用いています)

1 予算規模

単位：万円、%

会 計	26年度予算額		25年度予算額		増減比較			
	当初 A	当初 B	現計 C	当初予算比		現計予算比		
				A-B	増減率(%)	A-C	増減率(%)	
一 般 会 計	397,000	430,000	458,780	△ 33,000	△ 7.7	△ 61,780	△ 13.5	
国民健康保険事業特別会計	23,600	26,150	26,183	△ 2,550	△ 9.8	△ 2,583	△ 9.9	
後期高齢者医療特別会計	5,320	4,630	4,630	690	14.9	690	14.9	
簡易水道事業特別会計	15,430	16,480	17,546	△ 1,050	△ 6.4	△ 2,116	△ 12.1	
公共下水道事業特別会計	17,450	17,740	17,740	△ 290	△ 1.6	△ 290	△ 1.6	
農業集落排水事業特別会計	800	900	900	△ 100	△ 11.1	△ 100	△ 11.1	
合 計	459,600	495,900	525,779	△ 36,300	△ 7.3	△ 66,179	△ 12.6	
羊蹄山ろく消防組合ニセコ支署	16,012	16,773	16,649	△ 761	△ 4.5	△ 637	△ 3.8	



2 予算案の概要、編成方針

各会計予算の総額は45億9,600万円で、前年当初比3億6,300万円の減少(△7.3%)となりました。一般会計においては平成22年度から始めた町内公共施設の大型整備事業(平成22年度ニセコ小学校改修・平成23年度町民センター、中学校増築・平成24年度草地畜産基盤整備事業(TMRセンター)、ニセコ小学校体育館改修、五色温泉インフォメーションセンター建設・平成25年度高齢者グループホーム建設、総合体育館機能向上工事等)も概ね一段落したことにより、4年ぶりに40億円を切る39億7千万円という予算となっています。

平成26年度予算では将来の礎を築く期間とし、ニセコ町をより豊かな町とするため、国営農地整備事業の円滑な推進のための取り組みを中心として、中央地区駅前倉庫群の再整備に係る実施設計業務の継続、避難拠点である公共施設の耐震検査、町民プールの整備に向けた基本構想の実施のほか各種事業計画の策定を進めていきます。

平成26年度については次の事業に取り組みます。

【社会福祉の充実】		
認知症高齢者グループホームの外構	事業費	4,730万円
認知症高齢者グループホーム運営	事業費	1,771万円
【教育環境の充実】		
プール整備基本構想策定委託	事業費	108万円
【地域における情報と交流の新たな拠点づくり】		
コミュニティFM放送局運営事業	事業費	2,000万円
中央地区駅前旧倉庫群再整備実施計画	事業費	347万円
【快適な生活基盤の整備推進】		
デマンドバス運行事業	事業費	1,738万円
【地域の省エネルギー化の推進】		
街路灯LED照明更新事業	事業費	3,574万円
【商工業の推進】		
駅前温泉「綺羅乃湯」機能向上事業	事業費	304万円
【草地畜産基盤整備の推進】		
草地整備事業	事業費	1,346万円
【公共施設の耐震化・安全性の確保】		
ニセコ高等学校体育館耐震化診断事業	事業費	231万円
西富町民センター耐震化診断事業	事業費	89万円
【防災対策、防災機能の強化】		
原子力防災、総合防災訓練の実施	事業費	528万円

一般会計予算案の概要

【収入】

町税は、国内の景気向上の影響を考慮しつつも、国の税の組み換えなどによる減額等を考慮した結果、町民税で1億6,419万円、昨年比543万円増とし、全体で概ね前年より3,126万円増収の歳入を見込みます。

地方交付税は、18億8,500万円（前年当初比より500万円減額）を計上しました。普通交付税は、交付税補てんのある過疎対策事業債の償還額が減少するものの、福祉関連経費の増加等による増収を見込み、17億5,000万円（前年当初比同様）を計上しています。

また、地方財政対策における財源補填のための町債（臨時財政対策債）の発行は、1億3,513万円を見込みます。

町債（借入金）は、中学校東通改良舗装事業を新たに実施し、昨年本体工事を実施した高齢者グループホームの外構工事、道路、公営住宅の整備、本年度最終年のLED街路、防犯灯設置工事などの継続事業により、3億3,053万円（前年当初比2億9,844万円の減）を計上しました。

【支 出】

普通建設事業費（公共投資事業費）は、3億7,197万円（前年当初比2億7,482万円）の減少（△42.4%）となりました。

維持補修費は、1億6,767万円前年当初比4,126万円の増加です。現在、施設の長寿命化と改修コストの平準化を進めており、快適性の確保を図るため、公共施設整備基金を活用して既存公共施設への必要な改修（投資）を行うものであり、町民共有の大切な資産の保有に努めます。

町債元利償還のための**公債費**（借金）は、7億909万円で前年当初比737万円の減少となります。

扶助費は、2億5,174万円で1,188万円の増加となりました。

特別会計予算案の概要

本年度は国民健康保険事業会計への税込不足分の繰出金（補てん金）と上記の上下水道3会計における財源不足を補うための一般会計からの繰出金は、合計で2億8,833万円（前年当初比4,045万円の減額）となっています。今後も施設や機械設備の老朽化による維持管理経費の増加が予想されることから、維持補修や改修などによる保全及び計画的な更新に努め、将来コストの抑制を図ります。

国民健康保険事業会計では、療養給付費の減少による後志広域連合負担金の減により、前年当初比2,550万円の減額となっています。財源不足が顕著となっており、本来必要な税負担に改める必要があるため、被保険者の急激な保険税負担を回避しながら、段階的な税率の引き上げを実施することとしていますが、なお不足する3,230万円については一般会計からの支援を行い、会計運営の収支均衡を図ります。

後期高齢者医療会計では加入者の増加により前年比690万円の増額となっています。

簡易水道事業会計では、町民生活の安心に直結する水道水の安定した供給を行うため、各施設の維持管理の徹底を進めます。

下水道事業会計は、予算は前年当初比290万円の減額となりました。収入では、社会資本整備交付金を活用するとともに、引き続き資本費平準化債を活用し、下水道供用開始当初の整備負担の軽減を図ります。

農業集落排水事業会計は、公債費の減少により前年当初比100万円の減少です。

3 財源の調整

予算要求時点では支出見込額が収入見込額を上回り、6億7千万円あまりの収入不足が見込まれていましたが、優先度を考慮した事業の取捨選択と経常経費の抑制による支出の見直し、国や道負担金補助金の計上及び町債の発行による収入予算を確保した結果、支出見込額と収入見込額の差を2億4,700万円までに圧縮しています。

新規事業や重点事業の拡充、各公共施設の改修など、将来を見据えた積極的な投資が現段階で必要と判断して生じたこの収入の不足額については、公共施設整備基金8,000万円、財政調整基金1億5,000万円、地域福祉基金1,700万円の取り崩しをもって、収支の均衡を図っています。なお、予算執行においては経費の節減に努め、基金取崩額の圧縮を図ります。

その結果、平成26年度末の予想基金残高は約9億8,325万円となります。

基金残高(一般会計)

単位:万円

基金名	H25年度見込み			H26年度見込み			対前年増減
	積立	取崩	残高	積立	取崩	残高	
財政調整基金	14	10,000	40,239	10	15,000	25,249	△ 14,990
減債基金	1	0	3,699	1	0	3,701	1
公共施設整備基金	19	16,500	40,805	12	8,000	32,817	△ 7,988
社会福祉事業基金	1	1	3,251	1	1	3,251	0
地域福祉基金	2	502	7,030	3	1,703	5,330	△ 1,700
スポーツ振興事業基金	0	0	386	0	0	386	0
交通遺児育英基金	0	0	17	0	0	18	0
ふるさとづくり基金	98	20	859	0	0	859	0
土地開発基金	2,801	2,798	20,550	2	0	20,552	2
産業振興基金	6	0	6,158	5	0	6,163	5
一般会計 計	2,942	29,822	122,994	36	24,705	98,325	△ 24,669

4 主な取組み事業

持続的な経済循環へ

①農業生産基盤の整備

農業の生産性の向上に不可欠な良好な農業生産基盤の整備のため、本年度より国営緊急農地再編整備事業に着手します。

事業整備要望は全体で1,490haとなっており、早期着手が望まれていた事業であることから、今後もスムーズな事業推進のため、期成会による活動をより活発化するとともに、農地の集積化に必要な整備農地の権利調整を行う換地計画の作成を進めていきます。

町独自の事業として明暗渠掘削特別対策事業を継続し、工事施工費用を補助し、生産基盤の整備を進めます。

また、地域で管理する農業用水路の老朽化への対策として、地域が主体となつて行う改修費用の一部支援を行います。

②草地畜産基盤整備事業への支援 事業費： 1, 346万円

酪農業を営む農業経営者で構成する農業生産法人が事業主体となり、飼料自給率の向上に向けた草地整備と草地の利用集積、飼料生産の生産性向上を図るため整備などを行うとともに、集約草地の草地整備をあわせて行い、草地畜産基盤整備事業を行っています。

また、北海道の支援制度を活用して、事業者が行う草地整備に係る事業費の一部に助成を行い、酪農経営基盤の強化を進めます。

③担い手対策と高収益作物の生産支援

新たなニセコ農業の担い手育成対策として、昨今の農業への関心の広がりを背景に本町の地勢や大都市に近い地理的条件を生かして、多様な農業経営体を育成・確保するため、所得目標など経営計画の基準を満たす小規模経営就農者に対し、無利子の貸付金制度を継続的に実施しています。

また、人参播種機など、新たな栽培技術を導入する生産組合に対して、資機材の購入助成を行い、高収益作物の栽培を奨励します。

④高品質米生産の推進

クリーン農業と高品質米の産地化の定着化を図るため、化学肥料の低減などクリーン農業に取り組み、品種による一定のタンパク基準をクリアした米生産者に対して作付面積10アール当たり2千3百円、収穫量60キロ当たり300円を補助します。

⑤観光客誘客の強化

国内事業としては、競争力の高い魅力ある観光地づくりに向けて、民間事業者のアイデアを生かし、その挑戦を支援するため、民間事業者が企画・実施する観光振興に係る事業経費の5分の4を補助する「ニセコ観光魅力アップ事業補助」を継続実施します。

また、東京ニセコ会との連携により、東京都内で行われる北海道産直フェアへの出展や緊急雇用事業を活用した、ニセコブランド商品開発の支援を進めます。

イベント支援強化として、ニセコエリアの観光事業者などで構成する「ニセコフェスティバル実行委員会」等が行う主催イベントや体験プログラム等の広告宣伝経費等に対して助成を行い、幅広い事業者間の取り組みと連携強化を支援します。

このほか、冬季ヒラフ地区に宿泊する観光客をターゲットにし、町内への集客を目的とした湯めぐりバス運行への助成を実施します。

⑥町内消費の拡大

自立・循環型経済システムへの転換を図るため、町内消費意欲の向上と商業の活性化、町内消費の拡大を目的に綺羅カード会が実施する綺羅ポイントカード事業、子育て世代の町内消費拡大と子育て家庭への生活支援を目的とした「子育て支援カード」に対して引き続き補助します。

⑦商業の振興や賑わいの創出

町内において小規模事業所を新設又は継承して新たに起業する方、又は業種の転換や事業所の拡張など積極的な事業展開を目指すために建物の新築や増改築、改装を行う費用の一部を助成（対象経費の3分の1以内、限度額150万円）します。

また、駅前温泉「綺羅乃湯」の機能向上に向けた取り組みを開始するとともに、中心市街地の活性化を図るため、綺羅街道における「市」（通称綺羅キラ市）を開催し、観光客の誘導などにより商店街の賑わいの創出と商店街の活性化を支援します。

このほか、「七夕の夕べ花火大会」への継続支援など、取り組みの中核的な役割を担う商工事業者に対しての支援を行います。

誰もが健やかに笑顔で暮らせるまち

①認知症高齢者グループホームの整備・運営 事業費：6,501万円

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、介護スタッフによる食事、入浴等の生活支援や機能訓練を受けつつ共同生活を行う住居として「社会福祉法人ニセコ福祉会」による認知症高齢者グループホームが本年度運営を開始します。

平成26年度の運営開始に向けて、駐車場や施設周辺の整備を実施します。また、安定的運営を図るためにグループホーム運営経費への助成を実施し、居住者にも安心して生活できる環境を確保します。

入所定員：9人×2ユニット＝18人

開設場所：ニセコ町デイサービスセンター隣接地

②高齢者世帯の除雪費用の助成

高齢者世帯の私道除雪委託や住宅周辺の除雪サービス、業者に委託している除雪費用の一部の支援等を継続します。

③高齢者世帯の見守り体制の拡充と医療救急情報キットの配布

介護保険事業として行う高齢者の見守り・安否確認による安心確保の取り組みを継続して実施します。

また、病気や災害時などの際、迅速に救急医療活動を受けられる態勢を整えるため、「医療救急情報キット」を一人暮らしの高齢者、心身機能の低下や病気な

どにより日常生活の一部に介護を必要とする虚弱高齢者世帯に配付します。

④重度障害者タクシー料金扶助制度及び住宅改修費助成事業

身体に障がいを持つ方の社会参加をより一層促進するため、重度障害者タクシー料金扶助制度の年間利用限度額の引き上げを継続します。

また、介護保険制度及び障害者自立支援法に基づく住宅改修費助成事業についても、住宅改修費の補てんがされない20万円を越える部分の利用者自己負担の半分を町が引き続き助成します。

⑤中学生までの医療費の無料化

子育て家庭への支援として、中学修了までの子どもにかかる医療費の無料化を継続します。

⑥予防接種事業の推進

1歳から就学前までの小児への感染症対策として、おたふくかぜ及び水ぼうそうの予防ワクチンの接種費用を引き続き町が全額負担します。

また、高齢者の肺炎重症化の防止のため、重篤化しやすい65歳以上の高齢者を対象に肺炎球菌ワクチンの接種費用の一部を町が引き続き助成します。

⑦健康診査費用の無料化

75歳以上の高齢者の特定健康診査については、受診者負担の軽減と受診率の向上を図るため、引き続き健診費用の無料化を行います。

国民健康保険事業では、病気の早期発見による重症化の予防、医療費の抑制などを目的として、40歳以上の特定健康診査にかかる一部負担金の無料化を継続実施します。

環境にやさしいニセコの創造

①LED街路灯の推進・公共施設の省エネ化の推進 事業費：3,574万円

国の補助金を活用し、町内に点在する街路灯（町及び町内会所有）のLED照明への更新工事を実施します。

最終となる本年度は、市街地以外の街路灯約270基のLED化への更新工事を進める予定です。

また、今後の施設などの公共物の設置、管理にあたっては、更新期などあらゆる機会を捉えて、新・省エネルギー対策を講じます。

②一般住宅の省エネルギー改修の促進

一般家庭における環境負荷低減の取組として、既存住宅の省エネルギー改修（断熱性能向上）費用の一部を引き続き助成します（補助金上限30万円）。

③民有林及び町有林の整備

国の補助事業等を活用して民有林の整備を進めるほか、峠地区の町有林（18ha）の間伐事業を実施します。

また、町独自の取り組みとして、引き続き森林整備を一層進めるために民有林の保育に必要な除間伐奨励制度を実施し、民有林の環境整備を促進します。

豊かな心と個性ある文化を育む

①子育て家庭への支援

小・中学校のスキー授業で必要となるスキーリフト費用について、引き続きかかる経費を町で負担します。

また、小中高生のスキー場シーズン券の購入に対して助成をします。

②教育環境の充実

二セコ小学校及び中学校に特別支援講師を配置して、障がいや個別的配慮が必要な児童生徒の学習支援を行うほか、小中高等学校に対して、スクールカウンセラーを派遣して、学校生活における児童・生徒の心のケアに努めます。

また、これからの国際社会を見据え、幼児期や小学校における国際理解と英語教育の推進による国際感覚の醸成を図るため、幼児センターや小・中学校に英語教育講師を派遣します。

二セコ高校における修学旅行では、旅行先をマレーシアとして現地ホテルスクールとの連携による国際観光都市におけるホテル実習体験などを通じ、国際社会に通用する人材の育成に努めます。

③国際交流員（CIR）の受入と国際化の推進

国が行うJETプログラムを活用し、海外青年4名の派遣を受け入れます（経費は地方交付税で補てんされます）。外国語刊行物の編集・翻訳や国際交流事業の企画・立案、外国からの訪問客の接遇など国際交流活動を進展します。

また、国際交流推進協議会において、町民と海外留学生や外国人定住者、国際交流員との文化交流の機会を設けるなどして地域の国際化を推進します。

④学習交流センター機能の充実

町民学習交流センター「あそぶっく」の指定管理者である「あそぶっくの会」が実施する本の読み聞かせや図書の貸し出しサービスなど、さまざまな地域貢献活動に対して必要な支援を行うほか、小・中・高等学校との連携など、本を通じて子どもからお年寄りまでの幅広い世代交流が図られるセンター機能の向上を図ります。

安全で安心な暮らしを支える

①公共施設の耐震改修

事業費： 320万円

平成26年度は災害発生時の避難所施設となる二セコ高校体育館と西富町民センターを国の補助金と有利な起債を活用して耐震診断を実施します。

また、災害対策等の拠点となる役場庁舎については、今後も改築、改修の検討を含め、施設あり方、財源の確保の検討を継続して行うこととしています。

②防災機能の強化

本町は泊原発事故時の「緊急時防護措置を準備する区域」となっています。

防災対策備品の整備や非常食の補充などの資材の購入や、継続的に具体的な災害を想定した総合防災訓練を実施し応急対応力の向上に努めます。

③コミュニティFM放送局の運営

事業費：2,000万円

オフトーク通信に代わる新たな情報共有手段として、「ラジオニセコ（周波数76.2MHz）」を運営しています。行政情報や防災情報に加え、地域の情報や観光情報を幅広くお知らせするとともに、子どもたちをはじめとして町民参加による番組づくりなどにより、地域コミュニティ活動の拠点としての事業を展開します。

なお、放送事業者の株式会社ニセコリゾート観光協会に対し、放送運営に必要な経費の支援を行います。

④にこっとBUS（デマンド交通）の運行

地域循環バス「ふれあいシャトル」に代わる交通手段として、交通弱者の域内交通手段の確保やドアトゥドアのサービスの展開するため、デマンド交通である「にこっとBUS」の運行を平成24年10月より実施しています。

運行費用の一部を助成し、安定的な交通手段の確保と利用者の利便性の向上を図ります。

⑤消費生活相談センターの運営

消費者生活相談・苦情処理等に対応するため、俱知安町を除く周辺7町村による消費生活相談の広域体制（ようてい地域消費生活相談窓口）を共同運営しています。

⑥町道羊蹄近藤連絡線歩道整備

事業費：4,654万円

交通量の多い国道5号と道道岩内洞爺線を短絡する幹線町道の沿線住民の安全性を確保するため、歩道の整備を進めます。平成26年度は340mの歩道整備と舗装改良工事、340m区間の実施測量設計と用地確定測量、920m区間の用地買収を行います。事業の完了は平成27年度を予定し、国の交付金事業を活用して事業を進めます。

- ⑦その他町道等の整備 :
- ・町道運動公園通排水路整備工事（延長140m） 事業費（排水2事業）
 - ・町道尾上二セコ縦貫線排水路整備工事 764万円
 - ・町道中学校東通改良工事（延長275m） 事業費：1,851万円
 - ・公園遊具等更新事業 事業費：216万円

⑧公営住宅の住環境の改善 事業費：1億36万円
 公営住宅ストック総合活用計画に基づき、既存住宅（2棟5戸）の改修に係る全面的改善工事を実施します。

また老朽化した中央団地（1棟8戸）の長寿命化複合改善工事を進めます。

次期公営住宅ストック活用計画に着手し、今後における住宅の長期利用の計画を新たに策定するほか、次年度以降に向けた富士見団地、綺羅団地の長寿命化に向けた実施計画を行い、住環境の改善を図ります。

⑨中央地区倉庫群の運用計画 事業費：347万円

市街地中央地区の既存倉庫群の再生利用による賑わいの再生や新たな拠点づくりの事業をより具体化するため、倉庫群スペースの再活用計画の最適化、運用方法の検討を進めます。財源は国の交付金を活用します。

未来を見据えた行財政の基盤づくり

①総合計画の策定と戦略的な行財政運営

第5次二セコ町総合計画に掲げる「環境創造都市二セコ」の基本理念のもと、まちづくりを推進します。

また、新たな財政計画（中期財政見通し）や新行政改革計画に基づいた、戦略的な行財政運営に取り組みます。

②町税等収納対策の強化

税の公平性を図るため、町税等収納対策推進計画に基づき、新たな滞納の発生抑制と収納対策、後志広域連合との連携を図りながら滞納整理を進めます。

③計画的な公共施設管理

公共施設の簡易劣化診断や公営住宅ストック総合活用計画、橋梁の長寿命化計画などを活用し、公共施設全般の維持補修について、将来的な負担を減らすよう、計画的な維持管理を進めるとともに公共トイレの美化の徹底など、利用者に配慮した快適な公共施設の管理に努めます。

4 一般会計 歳入・歳出の内訳（款別）

単位：万円、%

款	区 分	歳 入				予算構成比	
		本年度予算	前年度予算	増 減 額	増減率	本年度	前年度
		A	B	A-B			
1	町税	60,861	57,735	3,126	5.4	13.0	13.4
2	地方譲与税	4,900	5,800	△ 900	△ 15.5	1.2	1.3
3	利子割交付金	90	70	20	28.6	0.0	0.0
4	配当割交付金	50	40	10	25.0	0.0	0.0
5	株式等譲渡所得割交付金	7	10	△ 3	0.0	0.0	0.0
6	地方消費税交付金	6,700	4,400	2,300	52.3	1.7	1.0
7	ゴルフ場利用税交付金	300	290	10	3.4	0.1	0.1
8	自動車取得税交付金	500	900	△ 400	△ 44.4	0.1	0.2
9	地方特例交付金	100	300	△ 200	△ 66.7	0.0	0.1
10	地方交付税	188,500	189,000	△ 500	△ 0.3	47.5	44.0
11	交通安全対策特別交付金	90	100	△ 10	△ 10.0	0.0	0.0
12	分担金及び負担金	3,706	3,548	158	4.5	0.9	0.8
13	使用料及び手数料	14,543	14,598	△ 55	△ 0.4	3.7	3.4
14	国庫支出金	24,732	25,789	△ 1,057	△ 4.1	6.2	6.0
15	道支出金	14,315	16,511	△ 2,196	△ 13.3	3.6	3.8
16	財産収入	3,291	3,285	6	0.2	0.8	0.8
17	寄附金	0	0	0	0.0	0.0	0.0
18	繰入金	24,705	27,003	△ 2,298	△ 8.5	6.2	6.3
19	繰越金	3,000	3,000	0	0.0	0.4	0.7
20	諸収入	13,558	14,724	△ 1,166	△ 7.9	3.4	2.4
21	町債	33,052	62,897	△ 29,845	△ 47.5	8.3	14.6
歳 入 合 計		397,000	430,000	△ 33,000	△ 7.7	100.0	100.0

款	区 分	歳 出				予算構成比	
		本年度予算	前年度予算	増 減 額	増減率	本年度	前年度
		A	B	A-B			
1	議会費	4,987	5,047	△ 60	△ 1.2	1.3	1.2
2	総務費	105,621	103,568	2,053	2.0	26.6	24.1
3	民生費	56,785	76,618	△ 19,833	△ 25.9	14.3	17.8
4	衛生費	29,945	30,995	△ 1,050	△ 3.4	7.5	6.7
5	労働費	204	204	0	0.0	0.1	0.0
6	農林水産費	12,507	13,517	△ 1,010	△ 7.5	8.2	2.8
7	商工費	9,158	10,308	△ 1,150	△ 11.2	2.3	2.4
8	土木費	49,189	50,340	△ 1,151	△ 2.3	12.4	9.0
9	消防費	15,854	16,772	△ 918	△ 5.5	4.0	3.9
10	教育費	41,490	50,634	△ 9,144	△ 18.1	10.5	11.8
11	災害復旧費	51	51	0	0.0	0.0	0.0
12	公債費	70,909	71,646	△ 737	△ 1.0	17.9	16.7
13	予備費	300	300	0	0.0	0.1	0.1
歳 出 合 計		397,000	430,000	△ 33,000	△ 7.7	100.0	100.0

【 この資料のお問合せ 】 ニセコ町 総務課財政係 担当：係長 中川 博視
 電 話： 0136-44-2121
 業務時間： 8:30 から 17:15 まで
 mailto:zaisei@town.niseko.lg.jp